

令和4年度  
学校だより  
11月号

# かごまち



令和4年11月1日  
文京区立駕籠町小学校  
校長 矢部 明美

## 思いや願いをもって、ともに学ぶ

主幹教諭 荒木 悠介

スマートフォンをはじめ、ロボット、家電など、使う人の動きや好みを予測して動作する機器が生活の中で身近になってきました。人間のように学習し、様々な指示に対応できるようになっていく人工知能(AI)の著しい進歩は、目を見張るものがあります。しかし、それらの機器と人間とは、まだまだ歴然とした違いがあるということも事実です。AIはあくまでも受け身で指示を実行することが前提。やなり人間らしさの根幹は、自らの思いや願いをもち、それを発信するという「主体性」こそが肝要といえます。

一方で、社会で生活していく基礎となる力を育む小学校の授業はどうだろうか。思いや願いをもち、主体性を発揮しながらいきいきと学ぶ子供たちを育てることができているのだろうか。そのような省察から、子供たちの様子や考えをもっと深く見取り、目の前の子供たちに合った指導を考えるというところを出発点にして、駕籠町小学校の授業改善の取組は始まりました。

そこから約2年。結果は、子供たちの姿にはっきりと表れてきています。「自分が考えた方法でやりたいな」「何を特に頑張ろうかな」「次はもっとこうしよう」「足りなかったところは次の授業までに準備してこよう」。一人一人が自ら選んだ目的に向け、粘り強くやり遂げようと、目を輝かせながら学びに没頭するなど、まさしく「主体的」な姿が、どの学級においても見られるようになってきました。それは、授業だけでなく様々な行事や生活の場面においても同様です。

また、自分一人だけの学びにはとどまらず、一人一人が自分の思いや考えを友達と積極的に共有し、考えを深め合ったり、楽しんだりする場面も、目に見えて増えてきています。さらに、相互に自己開示することは、相手との共感や信頼につながります。共感・信頼を基にした安定した関係が作られ、駕籠町小の各教室には学級のみながともにのびのびと学ぶ、大変よい雰囲気生まれています。

「答えの決まっている問題を早く解く」だけの力ではなく、「もっている知識を活用して、新たな課題をどう考えるか」、「何が身に付き、何ができるようになるか」という、生きて働く資質や能力は、こうした主体的・協働的な学びの中でこそ身に付けることができます。AIをはじめ、ますます情報が溢れ、予測困難になるであろうこれからの時代を生きる子供たちに、必ず身に付けてほしい力です。

授業改善にゴールはありません。これからも、子供たちの様子や思いに寄り添いながら、主体的・協働的に学び続ける駕籠町小の子供を育てていきたいと思えます。

11月の行事予定			詳しい時程については、学年だよりをご参照ください。		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	火		16	水	児童集会 社会科出前授業(4年) オンライン工場見学(5年)
2	水	かごめ班遊び	17	木	就学時健康診断 金曜時程 4時間授業
3	木	文化の日	18	金	クラブ フィールドワーク(5年)
4	金	4時間授業	19	土	
5	土	東京都教育の日 書写用品販売	20	日	
6	日		21	月	全校朝会 自然体験教室(4年) GTEC(6年)
7	月	全校朝会	22	火	
8	火	安全指導	23	水	勤労感謝の日
9	水	区小研 4時間授業	24	木	
10	木	4時間授業	25	金	フィールドワーク(5年)
11	金	研究発表会 A時程 4時間授業(授業公開の学級は5時間授業)	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	全校朝会 図書館見学(2年)
14	月	全校朝会	29	火	遠足(1・2年)
15	火	避難訓練	30	水	かごめ班遊び

## 防災宿泊体験学習を終えて

第4学年

10月14日（金）～15日（土）に、防災宿泊体験学習を行いました。14日は一日中防災学習を行いました。午前中には、道徳の時間において阪神・淡路大震災の被害状況を知り、被災した人々が助け合っていた事実に触れ、人々がどんな思いでまちを復興させていこうとしたのかについて考えました。また、文京区防災課の方々をゲストティーチャーとして招き、防災倉庫の見学や災害用特設公衆電話活用の実習などを行い、何度も繰り返し起こっている大地震から自分たちの命を守るために何ができるのかについて学習しました。

その日の午後の授業では、小石川消防署の方々から、AEDの使い方、担架の作り方、119番通報や初期消火の仕方について教えていただきました。さらに、夕食には父母と先生の会の皆様が用意してくださった防災食を食べ、夜には防災教育普及協会の宮崎賢哉先生から、避難生活で必要なことについての講演を伺い、段ボールとビニル袋でトイレを作る実習を行いました。4年ぶりに学校での宿泊を伴う体験学習を行うことができた子供たち。この一泊二日を通して、自分にもできることがあることを、実感を伴って学ぶことができました。2日間で学んだことを生かして行ってほしいと思います。



## 研究発表会に向けて

研究主任

本校は、昨年度より令和3・4年度文京区研究協力校の指定を受け、「学びを紡いでいく児童の育成」を研究主題として、研究を進めてきました。学校の教育目標及び校長の学校経営方針を踏まえて、児童に確かな学力を育成するために授業実践を積み重ね、児童がより深い学びに向かうことができるよう、児童の様子や学びへの向き合い方をつぶさに見取り、その児童の姿から、教師の関わり方を考えています。目指していく学びは一緒でも、学び方は人それぞれであり、一人一人の最適な学び方を支えていくことが教師の一つの役目です。そのためにも、日ごろから児童の様子や背景にも気を配り、状況に応じて様々な選択肢を用意し、児童が多様な関わりの中で「自分事」として学んでいけるよう努めています。

11月11日（金）の午後に「研究発表会」を開催いたします。研究発表会には、多くの区内の先生方が来校されます。当日は、各学年一学級ずつ授業を公開いたします。該当の学級は、5時間目までの授業になります。該当学級や詳しい下校時刻等につきましては、各学年の学年便り11月号をご覧ください。

ご家庭にも、学校での学びに向き合うお子さんの姿や思いが伝わるよう、様々な機会を通して発信していければと思います。

